

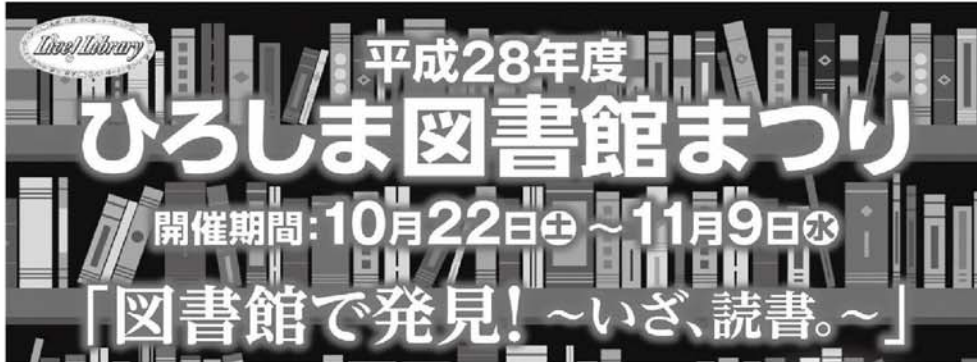


広島市

# 図書館 だより

平成28年(2016年)秋 No. 331

- 平成28年度ひろしま図書館まつり ..... 1面
- 『ほんはともだち — 子どもの心を育てる良書目録 —』  
発行から50年 ..... 2面
- 「本を紹介しあう会」を開催しました! ..... 3面
- 図書館司書が紹介するこの1冊! 「いざ、読書。」 ..... 3面
- この日は何の日? ..... 4面
- 休館日のお知らせ10月~12月 ..... 4面



読書の秋です! 広島市立図書館13館・室と広島市映像文化ライブラリー、広島県立図書館は、本の楽しさ、読むよろこびを多くのみなさんと分かち合うため、今年も読書週間に合わせて「ひろしま図書館まつり」を開催します。共通テーマは、今年70回目の節目を迎える読書週間のテーマに合わせて「図書館で発見! ~いざ、読書。~」としました。期間中には、恒例の「本のリサイクルフェア」や「本の交換市」をはじめ、趣味や教養を深める各種講座や映画会など、さまざまなイベントを行います。また、図書館司書のオススメ本を詰め合わせた「福ブックセット」を各館でご用意しています。この機会に普段は自ら手に取ることのない新たな本と出合ってみませんか? ぜひ図書館におこしください。



(昨年の「本の交換市」の様子)

詳しくは、「ひろしま図書館まつり」のチラシ(各館で配布)をご覧ください。各図書館にお問い合わせください。

平成28年度「ひろしま図書館まつり」についてのホームページはこちら↓  
<https://www.library.city.hiroshima.jp/news/city/2016/10/679.html>

## 「読書週間」とは

終戦後の昭和22年(1947年)、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回「読書週間」が開催されました。第2回からは文化の日を中心にした2週間(10月27日~11月9日)と定められました。運動は現在まで引き継がれ、期間中はさまざまな読書を推進する行事が行われています。今年は70回目の節目の年となります。

# 『ほんはともだち 一子どもの心を育てる良書目録一』発行から50年

昭和41年（1966年）から隔年で発行している図書目録『ほんはともだち』は、今年で50年を迎えました。この目録は、出版された児童書の中からおすすめの本を紹介するリストとして、昭和41年に『子どもの心を育てる良書目録'66』として発行したのが始まりです。その後、昭和57年（'82年版）からは、過去2年間の新刊に限定して約200点を選び、紹介しています。

この目録は、発刊当初から「広島市よい本をすすめる母の会」に大きく関わっていただき、平成25年（2013年）3月発行の『ほんはともだち'12』まで、48年の長きにわたり編集委員を務めていただきました。その後は編集委員を公募し、協力して発行しています。また、目録のタイトルも、より親しみやすく広く活用していただくため、平成3年（1991年）に、『ほんはともだち』に改称しました。

近年は、発行当時とは子どもを取り巻く状況も大きく変わり、情報が満ち溢れる時代となりました。しかしながら、子どもたちに本に親しんでほしいという願いは、50年間変わることなく受け継がれています。

現在、こども図書館では『ほんはともだち'16』（平成29年3月発行予定）の発行に向けて取り組んでいます。数多く出版される児童書の中からおすすめしたい本を掲載候補本として選び、一冊一冊を読み込んで更にその中から掲載本を決定し、対象年齢の目安を定め、書名などの本の情報、表紙写真とともに紹介文を載せる準備をしています。そして、何よりもその本の良さがより伝わる紹介文を作成するため、編集委員とこども図書館の職員が一丸となり、何度も協議を重ね推敲を行っているところです。

子どもたちが読書を楽しむためには、周囲の大人が環境を整え、子どもたちに働きかけていくことが大切です。家庭・地域・学校等で子どもたちに本を手渡される大人の方に、この目録を活用していただくことで、子どもたちが新たな本と出会い、読書の楽しみや喜びを感じることができるよう願い、今後も発行を続けていきます。

なお、既刊の『ほんはともだち'10』、『ほんはともだち'12』、『ほんはともだち'14』をこども図書館の窓口で、ご希望の方に無料で配布していますので、ご活用ください。

## 『ほんはともだち一子どもの心を育てる良書目録一』の歴史

昭和41年（1966年）4月	『子どもの心を育てる良書目録'66』発行 （以後隔年発行）
昭和58年（1983年）10月	『良書目録総集版』発行
平成3年（1991年）1月	名称を『ほんはともだち』に改称して発行
平成21年（2009年）3月	『ほんはともだち'08』編集委員として初めて5名の市民を公募し編集
平成27年（2015年）3月	『ほんはともだち'14』掲載図書の表紙を白黒からカラー印刷に変更
平成29年（2017年）3月	『ほんはともだち'16』発行予定



『子どもの心を育てる良書目録'66』



『ほんはともだち'14』

### ※「広島市よい本をすすめる母の会」

親子で本を楽しみながら豊かな心を育て、一人でも多くの子どもたちに本の楽しさを知らせるとともに、文字と絵でつくられた「本」という文化遺産を子どもたちの世代に大切に伝えていくという目的で、昭和37年（1962年）に発足し、以来、絵本の読み聞かせや講演会の開催、良書目録の作成など、広島市の子どもの読書推進活動を牽引してきました。

## 「本を紹介しあう会」を開催しました！

8月20日（土）に、中央図書館3階セミナー室で、「平和の大切さを伝える本」をテーマに、「本を紹介しあう会」を開催しました。

「本を紹介しあう会」の流れは次のとおりです。

- ① 4～5人のグループ内で1人1冊、5分程度で本を紹介します。
- ② 紹介された本について、5分間自由に話し合います。
- ③ グループで「平和への思いを広げていくために私たちができること」について話し合います。
- ④ グループの代表者が全員に向けて発表します。

高校生から80歳代まで18名の参加があり、原稿や配付資料を準備された方、iPadを使って発表された方、参考として他の本を持って来られた方など、皆さん熱意をもって本を紹介され、話し合いも活発に行われました。

「平和への思いを広げていくために私たちができること」についての話し合いでは、「知ること」「被害だけでなく加害の歴史を知ること」「本を紹介しあう会のようなイベントに参加すること」「身近な人を大切にすること」などが挙げられました。

会が終わった後には、違う世代の人と話すことができ、楽しかった、知らない本を知ることができてよかったという感想をいただき、参加者の皆さんにとって楽しく有意義な時間となったようです。本というきっかけから、人がつながるということを実感した会でした。今回参加者が紹介された本と、紹介された理由のリストをホームページに掲載しています。興味を持たれた本を、ぜひ読んでみてください！



## 図書館司書が紹介するこの1冊！「いざ、読書。」

### 児童書

『闇を照らす六つの星  
日本点字の父 石川倉次』

小倉 明/著  
汐文社 2012年



6つの点を組み合わせて文字や数字をあらわす点字。明治時代、フランスから伝わった点字を日本語でも使えるようにするため、東京盲啞（もうあ）学校の教師・石川倉次は、その研究に取り組みました。

アルファベットとは文字数が異なる日本語の「かな」を6点の点字にすることは不可能だと思われましたが、同僚教師や生徒たちと議論を交わし、努力を重ねた結果、ついに日本の点字を考え出します。

日本点字制定の最大の功労者であり、点字の普及や改良にも携わった、彼の生涯を紹介しています。

### 一般書

『原爆供養塔  
忘れられた遺骨の70年』

堀川 恵子/著  
文藝春秋 2015年



平和記念公園には、いまだ引取先のない7万人の遺骨が眠る原爆供養塔があります。

この本は、そこに通い、「撒いた種はいつか芽が出てくる」と願い、一人でも多くの遺骨を家族の元に返そうと遺族を捜し続けた佐伯敏子さんの証言とともに、彼女の思いを継承し、様々な厳しい現実に向き合いながらも、声なき被爆者の帰るべき先を捜す著者の体験が綴られた、原爆供養塔の知られざる事実に向ったノンフィクション作品です。

広島に生きる者として、もっとヒロシマを知りたくなる1冊です。

# この日は何の日？

## 11月1日は、古典の日

左衛門の督<sup>かみ</sup>、「あなかしこ、此わたりに、若紫やさぶらふ」とうかゞひたまふ。源氏に似るべき人も見え給はぬに、かの上は、まいていかでものしたまはんと、聞ゝあたり。

〔紫式部日記〕『新日本古典文学全集 24』(岩波書店 1989年)所収 p.283 より

これは、『源氏物語』の作者である紫式部の日記、寛弘5年(1008年)11月1日(旧暦)の記述です。敦成(あつひら)親王(のちの一条帝)誕生から五十日後に行われた祝宴の日の一コマとして、藤原公任(ふじわらのきんとう)が「失礼ですが、このあたりに若紫はおいででしょうか」と几帳の間から語りかけてきたけれども、源氏の君に似ている方もお見えにならないのにどうしてあの紫の上がいるのだらうと、聞き流していたという内容が記されています。

ここに登場する「若紫」とは『源氏物語』の登場人物で、この記述は、この頃には公任のような男性官人にも『源氏物語』が読まれていたことを示すとともに、日本の代表的な古典文学の『源氏物語』が歴史上はじめて記録された日、として知られています。

このようなことから、記述の日から千年目にあたる平成20年(2008年)の前年に、日本の古典文学を顕彰する目的で源氏物語千年紀委員会がこの日を「古典の日」とすることを提案し、平成24年(2012年)9月5日に法律として記念日に制定されました。

ぜひ、みなさんもこの記念日にちなんで、古くから風土と歴史に根ざし、現代まで伝わってきた古典に触れ、親しんでみてはいかがでしょうか？

古典に抱かれて



11月1日 古典の日

このコーナーでは、図書館や本、文学などに関わる記念日を紹介します。

## 休館日のお知らせ 10月～12月

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

□ 休館日

### >>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

- ※ 南区図書館 11月10日(木)～11月16日(水)
- ※ 東区図書館 11月25日(金)～12月1日(木)
- ※ 佐伯区図書館 11月25日(金)～12月1日(木)
- ※ 安佐南区図書館 12月2日(金)～12月8日(木)

# 編集・発行

Hiroshima City Central Library

広島市立中央図書館

(公益財団法人 広島市文化財団)

〒730-0011 広島市中区基町3-1

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代表 082(222)5542

本の照会・相談専用 082(222)6440

FAX 082(222)5545

(携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)

(スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)